

第3期プラン計画期間中における変化等

○新型コロナウイルス感染症拡大による影響

人と人との対面でのコミュニケーションの減少、体験的な活動の減少、国際交流の停滞、地域活動等
地域との繋がりの減少、不登校児童生徒の増加 等

○社会情勢・教育をめぐる変化

グローバル化の進展・国際情勢の不安定化、令和の日本型学校教育の構築、こども基本法の成立、多
様性と包摂性のある共生社会の実現、Society5.0社会の構築 等

第3期プランにおける進捗の総括

第3期の計画期間中、全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、学校教育も様々な影響を受け
たが、重点テーマである「『未来への道を切り拓く力』の育成」に向け、可能な限りの創意工夫を行
いながら、学校・家庭・地域が連携した取組を進めてきた結果、令和4年度においては、40指標は目
標値の90%以上を達成することができた。一方、目標値を下回った（70%未満）指標は6指標であ
り、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限されたことが大きな要因である。人と人との
繋がりの大切さの重要性を認識し、社会全体で子どもの成長を支える取組の充実が欠かせない。

国の第4期教育振興基本計画における2つのコンセプトと5つの基本方針

○計画のコンセプト

- ・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
- ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

○教育政策に関する基本的な方針

- ・グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ・誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向け、計画の実効性確保のための基盤整備・対話
た教育の推進
- ・地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

第4期ひょうご教育創造プランの基本理念

(1) 兵庫が大切にしてきた教育

本県の教育は、いつの時代にあっても教育の根底にある、個人の尊厳
を重んじ豊かな人間性や創造性を育む「こころの豊かさ」の育成を基調
に、子どもたちの豊かな人間関係の構築、学校と家庭のみならず、地域
社会が一体となって子どもたちの成長を支えていくことを重んじてきた。

その上で、兵庫県「体験教育」等の展開による「思いやりの心」「ぶ
るさとを愛し誇りをもつ心」の醸成、震災の経験と教訓を活かした「共
生の心」「生きる力」を育む教育の推進に取り組むとともに、一人一人
の個性や創造性を伸ばす教育や「社会に開かれた教育課程」の実現を図
るなど、様々な変化する社会情勢の中にあっても、不易としての教育を
堅持しながら未来を担う人材の育成という使命に応える努力を積み重ね
てきた。

今後とも、変化の激しい時代だからこそ、これまで兵庫の教育が大切
にしてきたものの意義を、改めて社会全体で共有し、その上で新しい時
代の教育を切り拓いていくことが求められる。

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

新型コロナウイルス感染症の拡大による3年以上に及ぶ社会経済活動や教
育活動への制限は、体験活動の機会や地域とのつながりを減少させ、不登校
の子どもたちが増加するなど、子どもたちに広範囲かつ多面的な影響を与えた。
これらに加え、自己肯定感や当事者意識の低さ等、従来認識されながら解決
に至らなかった様々な課題もコロナ禍を機に改めて指摘されている。

一方、こうした状況の中で、学校は学習機会や学力の保障のみならず、人
と安心・安全につながるができる居場所として、身体的・精神的な健康
を支えるという役割も担っていることや、全人的な発達・成長を保障する役
割として、教職員と子どもたちが教室に集い、関わり合いながら成長するこ
との価値や意義等について、再認識する機会となった。

新型コロナウイルス感染症の拡大が子どもたちに与えた影響は今後も継続
していくことが懸念され、更に顕在化してくる課題もあると考えられる。こ
れまで以上に学校種間、学校・家庭・地域、そして社会全体で連携・協働し、
子どもたちの成長を見守り支えていくことが求められる。

(3) 2020年代を通じて実現すべき「令和の
日本型学校教育」の姿

急激に変化する時代の中で、子どもたち一人一人が、自分のよさや可能性を認識すると
ともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な
社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることがで
きるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

これまで本県が大切にしてきた教育を継承
しつつ、新しい時代を見据えて更なる発展・
振興を図り、「令和の日本型学校教育」の実
現に向けた必要な取組を果敢に進めていくこ
とが求められる。

第4期プラン 基本理念：兵庫が育む こころ豊かで自立する人づくり

重点テーマ：「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成

- 第3期プランでは、子どもたちが将来の夢や目標に向かって主体的にキャリア形成と自己実現を図ることをめざし、「兵庫が育む こころ豊かで自立する人づくり」を基本理念とし、「『未来への道を切り拓く力』の育成」を重点テーマとして、様々な取組を展開してきた。
- 今後の教育には、社会情勢の激しい変化が続く中、想定外の事象と向き合い対応する力や不透明な未来を切り拓く力をどう涵養していくかという視点とともに、ウェルビーイングの向上や持続可能な社会の実現という視点が重要であり、そのために、自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、自己のみではなく主体的に他者と協力・協働しながらその実現に向けた課題を発見・解決し、新たな価値を「創造」していく力を育むことが求められる。
- また、多様な人々が共に暮らす社会において、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重するとともに、学校・家庭・地域が連携・協働し相互に育ち合いながら、これまで兵庫が大切にしてきた「絆」を深めて、子どもたちの成長を支え、子どもたちが自分らしく安心して過ごせる環境を構築していくことが重要である。
- 更に、人生100年時代をより豊かに生きるため、生涯にわたって、意欲をもって知識と知恵をアップデートし続け、スキルを身に付けるなど、自らの可能性を最大限に伸ばし、学びの成果を社会の様々な場面で発揮できる社会を形成することが求められる。
- これらを踏まえ、第4期においては、本県教育の基本理念としてきた「兵庫が育む こころ豊かで自立する人づくり」を基本としながら、第3期重点テーマ「『未来への道を切り拓く力』の育成」を継承しつつ、更なる本県教育の振興を図るため、「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力の育成」を重点テーマとして取り組むこととしたい。

理念・重点テーマの
実現に向けた
3つの方針

基本方針1

予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

「不易」をしっかり守りつつ、「流行」として、社会の変化に対応し、主体的に考え行動して、未来に向けて新たな価値を創造する力を育む。

基本方針2

すべての子どもが自分らしく安心して過ごせる
学校・家庭・地域等の構築

自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重するとともに、学校・家庭・地域等が連携・協働し社会全体で子どもの成長を支える。

基本方針3

安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の
整備・充実

子どもたちの豊かな学びを実現するための教育環境の整備・充実を図る。

実現に向け、
基本的方向性
⇒施策を展開

第4期ひょうご教育創造プラン（概要）

学習指導要領や生徒指導要領等は、一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現をめざし改訂がなされたことも踏まえ、第4期の実施に当たっては、子どもたち自身が必要な資質・能力等を身に付けていけるよう、学校、家庭、地域、行政等、社会全体が支えていくという視点を改めて重視し、取り組んでいくことが重要である。

基本方針1

予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

基本的方向	施策
(1) 「確かな学力」の育成	①新しい時代に求められる資質・能力の育成 ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ③情報活用能力（情報モラルを含む）の育成 ④伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する国際教育の強化 ⑤新たな価値を創造する教育の充実 ⑥魅力と活力ある高校づくりの推進
(2) 「豊かな心」の育成	①兵庫型「体験教育」の推進 ②ふるさと意識を醸成する教育の推進 ③道徳教育の推進 ④人権教育の推進 ⑤いじめへの対応 ⑥不登校への対応 ⑦読書活動の充実
(3) 「健やかな体」の育成	①健康教育・食育の推進 ②体力・運動能力の向上 ③部活動改革の推進
(4) 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成	①兵庫型「キャリア教育」の推進 ②社会的資質・能力の発達の支援 ③主体的に社会の形成に参画する態度等の育成
(5) 特別支援教育の推進	①連続性のある多様な学びの場における教育の充実 ②連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実
(6) 幼児期の教育の充実	①幼児期における教育の質の向上 ②幼保小の協働による架け橋期の教育の充実
(7) 高等教育（大学）の推進	①グローバル社会で活躍できる人材の育成 ②地域のニーズに応える専門人材の育成 ③高度な専門性を有する人材の育成
(8) 私学教育の振興	①私立幼稚園・小学校・中学校・高校の教育への支援 ②私立専修学校・各種学校の教育への支援
(9) 人生100年を通じた学びの推進	①生涯学習・社会教育の振興 ②社会教育施設の充実 ③文化芸術の振興と文化財の保存・活用 ④「する・みる・ささえる」スポーツへの参画

基本方針2

すべての子どもが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築

基本的方向	施策
(1) 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進	①特別支援教育の推進（再掲） ②不登校児童生徒への支援（再掲） ③多様な教育ニーズへの対応 ④男女共同参画の視点に立った教育の推進
(2) 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	①家庭の教育力の向上 ②地域の教育力の向上
(3) 子どもの育ちを社会全体で支える取組の推進	①子どもたちの創造的な活動等を支援する取組の推進 ②働き方改革・新たな働き方やワーク・ライフ・バランスの推進
(4) 関係機関等との連携の強化	①関係機関等との連携の強化 ②教育データ利活用に関する研究
(5) 子どもたちの安心・安全の確保	①安全教育の推進 ②「兵庫の防災教育」の推進 ③学校の危機管理体制の向上

基本方針3

安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

基本的方向	施策
(1) 教育DXの実現に向けた教育の情報化の推進	①1人1台端末の活用推進 ②情報活用能力（情報モラルを含む）の育成（再掲） ③教員のICT活用指導力向上 ④校務改善と教育環境充実に向けたICT環境の整備・充実 ⑤教育データ利活用に関する研究（再掲）
(2) 修学環境の整備・充実	①安心・安全な教育環境整備の推進 ②教育費負担の軽減に向けた経済的支援
(3) 教職員の資質・能力の向上	①質の高い人材の確保、資質・能力の向上 ②意欲と能力が最大限発揮できる指導・運営体制の整備・充実
(4) 学校の組織力の向上	①働きがいのある学校づくりの推進 ②教職員の健康管理 ③管理職の確保・育成